

救急初療看護における看護過程学習の足場かけの設計

増山 純二^{*,**}, 都竹 茂樹^{***}, 戸田 真志^{***},
平岡 斉士^{***}, 鈴木 克明^{***}

Designing Scaffolding to Learn Nursing in Emergency Department

Junji MASUYAMA^{*,**}, Shigeki TSUZUKU^{***}, Masashi TODA^{***},
Naoshi HIRAOKA^{***}, Katsuaki SUZUKI^{***}

This study reviewed the use of simulation-based learning (SBL) to teach nursing in 2016 in a nursing course for certification in emergency care. This study also examined learning support, which served as a scaffold for on-campus practice in 2017. Nursing notes following SBL in 2016 were assessed with a rubric used in practical training, and the average score was low (68%). Thus, case-based learning (CBL) was implemented in 2017 prior to SBL, and feedback was provided after CBL and SBL. The score was 10.20±2.20 points in 2016 and 14.10±1.52 points in 2017. The course design in 2017 resulted in more effective learning than that in 2016. In 2016, a heavy extraneous load (cognitive load theory) was imposed, but, the course design in 2017 decreased the extraneous load, allowing students to take on the germane load. Students presumably built a schema using pre-existing knowledge from classroom lectures in their long-term memory.

キーワード：救急看護，足場かけ，学習支援，認知負荷理論，看護過程学習

1. はじめに

看護師は、患者の看護上の問題を明確にし、計画的に看護を実施・評価を行っており、一連の過程を看護過程と呼んでいる。看護過程は看護実践を行うための問題解決プロセスであり、質の高い看護を実践するための骨幹である。救急初療看護では、医学診断、治療方針が決定される前から、看護ケアを提供することが多く、また、医師と情報を共有しながら、迅速な看護実践が求められる。アメリカ救急看護師協会（ENA）は、「救急看護実践とは、さまざまな状況で発生する実在的／潜在的、かつ、突発的／緊急に発生する、主として一次的で急激な身体的、心理的、社会的問題に対する人間の反応について、アセスメント、分析、看護診断、目標設定、計画、介入実践、評価をするこ

とである」⁽¹⁾と述べている。このように、救急初療看護においても看護過程が必要であることが示されている。看護過程学習の方法には、paper patient（紙事例）を使用しシナリオを通して学習する Case Based Learning^{(2)~(5)}（以下 CBL）、問題解決基盤型としての学習法である Problem Based Learning^{(6)~(8)}（以下 PBL）、高機能患者シミュレーターを使用した Simulation Based Learning^{(9)~(11)}（以下 SBL）などがある。先行研究においては、これらの学習方法を使った看護過程学習の効果として、批判的思考の学習効果が高いことは示唆されている。看護過程には批判的思考は必須とされる能力であるが、批判的思考ができれば看護過程ができる保証はなく、これらの学習方法が、看護過程学習として効果があると証明された先行研究はなかった。

* 長崎みなとメディカルセンター（Nagasaki Harbor Medical Center）

** 熊本大学大学院社会文化科学教育部教授システム学専攻（Kumamoto University Graduate School of Instructional Systems）

*** 熊本大学教授システム学研究センター（Kumamoto University Research Center for Instructional Systems）

受付日：2019年3月27日；再受付日：2019年7月29日；採録日：2019年9月24日